

令和2年度

水力発電の導入促進のための事業費補助金（水力発電事業性評価等支援事業） ＜②地方公共団体が行う水力発電事業性評価・公募事業＞

1 補助対象事業

地方公共団体が行う地域の水力発電有望地点の調査・設計等及び当該地点で開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者の公募に要する経費のうち公募用資料作成に係るものを補助します。

対象事業：新設及びリプレイスする水力発電所
発電出力：20kW以上10,000kW以下を見込むもの

2 補助対象事業者

地域における中小水力発電の有望地点を調査し、開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者を公募する地方公共団体

(*)当該補助事業で調査・設計等した有望地点は、発電を行う者の公募（採択まで）を必ず実施してください。

3 補助対象経費

水力発電有望地点（※1）の調査・設計等（※2）及び当該地点で開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者の公募に要する経費のうち公募用資料作成に係るもの

※1…調査・設計等する水力発電有望地点：都道府県は2地点以上、それ以外は1地点以上
※2…地質調査、地形測量、流量調査、河川維持流量調査、社会環境調査、基本設計等

4 補助率

補助対象経費に対して定額（10/10）

ただし、1申請あたりの補助金の上限額は、原則として5,000万円/年とし、かつ、1発電所あたりの補助金の上限額は1,000万円/年とします。

5 事業期間

交付決定日～令和3年2月末日まで

単年度で事業完了が不可能であると確認できる事業については申請できません。
本年度中に発電を行う者の公募まで必ず実施すること。

6 公募スケジュール等

公募期間 令和2年4月15日（水）～令和2年9月28日（月）

公募開始
4/15

1次締切
5月25日（月）

2次締切
6月30日（火）

3次締切
9月28日（月）

- ・交付申請書は、上記公募期間において随時受付をします。
ただし、1次締切時点あるいは2次締切時点において予算額を超える申請があった場合は、公募期間中であっても公募を終了します。
- ・公募期間中に締切を3回設け、各締切毎に審査及び交付決定を行います。
（締切から約1ヶ月後に交付決定を行う予定です。）

注意事項：交付決定日以降に初めて補助事業の開始（発注、契約）が可能となります。

事例紹介

黒石市（H29～R1）

事業名 中野川水系砂防堰堤を利用した小水力発電事業性評価・発電事業者公募事業
調査地点の設備概要 発電形式：水路式（A地点、B地点）
使用水量：0.99m³/s（A地点）、0.81m³/s（B地点）
有効落差：6.00m（A地点）、8.93m（B地点）
出力：26kW（A地点）、50kW（低圧連携）（B地点）

調査概要【令和元年度（平成31年度）実績】

- ① 総合検討 水力発電の整備費及び維持管理費を算定し、固定価格買取制度の活用等による事業性評価を行い、事業者募集の公募要領、要請書、選定のための評価基準等の作成を行った。
- ② 事業者公募 A地点、B地点ともに、水力発電事業者の公募を行い、参加表明が1社あったが、優先交渉権者の特定に至らなかった。令和2年度も継続して事業者公募を実施するとともに、その際、応募者が十分に検討期間を確保できるよう留意する。

郡上市（H29～R1）

事業名 郡上市小水力発電事業性評価調査・事業者公募
調査地点の設備概要

<郡上市高鷲町大鷲>		<郡上市明宝気良>
（高圧連係）（低圧連系）		
発電形式：水路式	水路式	水路式
使用水量：1.91m ³ /s	0.93m ³ /s	0.12m ³ /s
有効落差：8.50m	8.50m	55.4m
出力：135.2kW	49.9kW	49.9kW



<発電事業者公募要領>

調査概要【令和元年度（平成31年度）実績】

- ① 公募資料作成 小水力発電事業者を公募するためのリーフレットを作成した。
- ② 公募事業者の選定 郡上市小水力発電事業者選定委員会を2月28日に開催し、高鷲町大鷲、明宝気良の2地点で発電事業者を決定した。

福岡県広川町（H30～R2）

事業名 筑後川水系広川における事業性評価調査・事業者公募
調査地点の設備概要

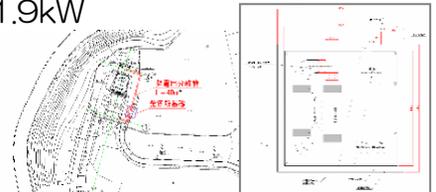
<ダム上流地区>	<ダム放流口地区>	<梯地区>
発電形式：水路式	発電形式：ダム式	発電形式：水路式
使用水量：0.52m ³ /s	使用水量：0.39m ³ /s	使用水量：0.27m ³ /s
有効落差：5.4m	有効落差：16.8m	有効落差：8.7m
出力：20.3kW	出力：49.9kW	出力：21.9kW



流量調査（梯地区）

事業実施概要【令和元年度（平成31年度）実績】

- ① 流量調査：3地区において流量調査を行った。
- ② 概略設計：流況解析、発電所や水路等の配置計画を行った。
- ③ 概略可能性検討：発電量を推定し、現時点での採算性を検討した。

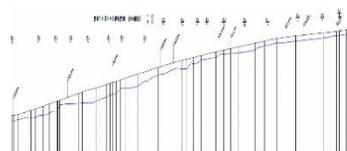


計画平面図（ダム放流口地区）

唐津市（R1～R2）

事業名 松浦川水系左伊岐佐川事業性評価調査事業
調査地点の設備概要

発電形式：水路式・流れ込み式
使用水量：0.45m³/s
有効落差：67m
出力：199.4kW



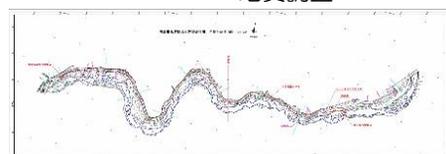
<測量縦断面図>



<地質調査>

事業実施概要【令和元年度（平成31年度）実績】

- ① 流量調査：水位の連続観測、実測流量調査を行った。
- ② 地形測量：基準点測量、水準測量、路線測量を行い、平面図、河川及び土地の縦横断面図を作成した。
- ③ 地質調査：地質調査（スウェーデン式サウンディング）を行った。
- ④ 基本設計：取水堰や発電所の概略レイアウト設計を行った。
- ⑤ 可能性検討：現時点で推定できる発電量を算定した。



<全体計画平面図>